

CORAL REEF

CONTENTS—

★コラリウム実験室だより

★2025 T-shirt Collection

★ARTIST EPISODE

★てるてる坊主

Vol.13



CORAL REEF Vol.13

発行元 社会福祉法人ラフト コーラル

〒274-0065 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 滋朗

2025 年 6 月 30 日 発行

コラリウム実験室だより

text by Fujita Saki

昨秋発行された『CORAL LEEF』vol.10では「コラリウムってどんな場所？」というタイトルで簡単にご紹介させていただきましたが、読者の皆様は覚えておいででしょうか？

今号よりコラリウムの活動をより発信していくために誌面の枠を1ついただきました。こちらのコーナーではコラリウムで普段どのような創作活動が行われているのか、ゆる〜くご紹介していきたいと思います。

さて、今回のテーマは「自給自足」です。コラリウムではコーラルやうると同様、ご利用者の皆様が創作活動に取り組まれています、作品や販売用の商品にならなかった画用紙はいったい何処へ行くのでしょうか？

《筆者の心の声》「商品にはならなかったけど、せっかく描いた（書いた）のに捨ててしまうなんてもったいないんじゃないの!？」

そこで今年の春からコラリウムで新たに取り入れた創作活動が「紙粘土作り」です。紙粘土といえば、手でこねて造形物を作る活動が思い浮かびますが、コラリウムでは造形物を作る前段階として以下のような手順を踏んでいます。

- ①商品にならなかった画用紙を細かくちぎる作業。
- ②ちぎった紙を水と一緒にミキサーにかける作業。
- ③ミキサーにかけてドロドロになった紙の水気を切る作業。
- ④水気を切ったドロドロの紙に片栗粉を混ぜ込む作業。

そうです…私たちは紙粘土をイチから自作しているのです!ここまでの前段階を経て、ようやく紙粘土による創作活動が始まります。

紙を細かくちぎるのがお好きな方や、電化製品のスイッチを押すのがお好きな方、ドロドロになった紙と水をパシャパシャと混ぜるのがお好きな方…などなど、ご利用者の皆さんが細分化された作業工程の中でそれぞれの得意分野で力を発揮されることによって、処分されていたかもしれない画用紙が完全自作の紙粘土に生まれ変わっていくのです!

8月で開所から丸1年を迎えるコラリウムですが、まだまだ試行錯誤の日々が続いています。前述の紙粘土作りも水や片栗粉の分量が上手くいく時とそうでない時があり、さながら理科の実験室のような雰囲気でも和気あいあいと作業を行っています。今後、コーラルの商品ラインナップの中にも紙粘土で作られたものが加わっていく見込みですが、その一つ一つの商品がどのように作られているのか、そして紙粘土に生まれ変わる前はどのような姿だったのかを今回の記事を通して皆様にもお伝えすることができれば幸いです。

片栗粉まぜ作業



紙ちぎり作業



好きな形に造形♪



ミキサー作業



コーラルレディン
2500円
販売中!

2025 SUMMER



① おすもうしちゃう?
(バックプリント)
©Takuya Kuniyoshi

size
S/M/L/XL



② I met You
©Yuichiro



③ Live together
ナチュラルホワイト/ブラック 2色
©Hiroki Sakamoto



④ It's fun~
©Kohei Takeda



ARTIST EPISODE

「おすもうしちゃう？」

今年の春頃だったでしょうか。
國吉さんの中での相撲ブームだったのか、職員に
「おすもうしちゃう？」
と投げかけてくることがありました。
とは言われなくても、
「OK！ハッケヨイ、ノコッタ！」
とおすもうはできないしなあ…、
しどろもどろな職員に彼は
「勝負する？」
と彼なりの代替案？を挑まれ、じゃ
んけん勝負をしていたのでした。
おすもうはできないけれども…
「Tシャツ着ちゃう？」
というわけで、彼のイラストとメッセ
ージ入りのTシャツができました！
ちなみに先日、力士一覧から『好きな
お相撲さん』を尋ねてみると…
「高安」と教えてくれました！(^.^)。



© Takuya Kuniyoshi



「Live Together」

春からコーラルに通い始めてく
れている宏樹さん。
最初は恥ずかしそうにトレーナー
を頭まですっぽりと被っていたこ
とも。
でも、少しずつ慣れてきたのかな
？ある日、みんなで大きな紙に
絵を描いていた時、彼の手元には
こんなカッコいい絵が！



© Hiroki Sakamoto

なんだ、これは！？
新人アーティスト現る！
ザワザワ！（ざわつくコーラル）
最近ではコーラルの他のみんなを見て楽しそうに笑っていたり、
ちょっぴりいたずらな表情も見え隠れしていたり。
そんな宏樹さんを見て少しずつ、少しずつ、コーラルが楽しい場所にな
ったらいいな、と思うのです。
ようこそ、コーラルへ。
Live Together！
（いっしょに生きる。）※社会福祉法人ラフトの法人理念です。

「I met You」

彼は初めてコーラルに来た時、職
員にこう言いました。
「出会ったんだよ」
ドキッ！
そうなんです。
出会ったんです。
ストレートだなあ。
その後も時々彼はボソツと言いま
す。
「あのね、出会ったの」
ひょうきんでいつも周りのみんな
を笑わせてくれるゆういちろうさん。
そんな彼の描くキャラクターたちも、ゆるっと愛らしく、見る人を和ま
せてくれます。
そんな彼に出会ったんです。
当たり前のことですが、人とって出会いから始まるんですね。
深い…。
ちなみに彼に『今後、出会ってみたい人』を尋ねてみました。
「タモリさん」
…だそうです。出会えるといいなあ。



© Yuichiro

「It's fun～」

彼には電車、テレビ、漫画、ゲー
ム、食べ物など好きな物がいつ
ぱいあります。
いつも色とりどりのペンをきれ
いに机の上に並べて電車や食
べ物、国旗などなど、紙いっぱ
いにぎっしりと描いています。
彼の描いた絵を見せてもらって
職員は尋ねます。
「これは何ですか？」
彼はちょっぴり高めめの優しい
トーンで答えてくれます。
「目玉焼きです～」
「みかんです～」
「SLです～」
「新幹線のぞみです～」
うわ～、すごきだなあ～。
職員も彼と一緒に笑ってピヨ～ンと飛び跳ねます。
「たのしいです～」
と言ってくれる康平さんの笑顔は最高です(^.^)。



© Kohei Takeda

てるてる坊主

コーラル管理者 土屋滋朗

今号の表紙はてるてる坊主にしてみました。コーラルの室内にぶら下がり、すっきりしない空模様を見つめています。外の駐車場では、職員たちが今日の外出活動の行き先をあれこれ相談しています。

「昨夜は雨が降ったからベンチが濡れているかも」

「この時間ならまだ〇△公園まで行けますね」

話がまとまったようで、それぞれが担当の車両に乗り込みました。エンジン音がして、1台ずつ出庫していきます。今日の行き先がどこに決まったのか、てるてる坊主たちには知るよしもありません。

コーラルの日常の風景です。外出活動の行き先は、その日の天気や出発時間、メンバーの顔触れなどによって、毎日その場で決められています。管理者であるわたしも、しょっちゅう一緒に出掛けていますが、たまにコーラルに残って事務仕事などしていると、お昼に外出活動から戻ってきた利用者さんたちから、

「ただいまー！ドライブ楽しかった！」

「〇△公園に行ってきました！」

などと報告をもらいます。きっとてるてる坊主たちも、そんな会話に微笑ましく耳を傾けていることでしょう。

さて、このてるてる坊主は、5月末に行われた外出イベントの好天を祈って、利用者みなさんの手で作られたものです。おかげさまで、約1週間のイベント期間中に雨が降ったのは最終日の1日だけ。その雨もお昼頃には上がり、北総花の丘公園を散策して帰ってくることができました。てるてる坊主たちは、無事にその役目を果たしたと言えましょう。

梅雨真っ只中な今日この頃。効果抜群なてるてる坊主に見守られ、今日もコーラルメンバーたちは外出活動に繰り出していきます。

そしてじきに、季節は暑い暑い夏を迎えます。今年の夏も元気に乗り切れますように！

P.S. その後、梅雨はどこかへ行ってしまいました...てるてる坊主、効果ありすぎ！？